

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標評価報告書

計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛媛県 愛媛県愛南町	380008	1	平成20年度 ～平成23年度	平成20年度 ～平成23年度
活性化計画の区域				
愛南城辺地区活性化計画は、旧城辺町全域のうち市街化・用途区域を除いた 7,417ha を計画区域とする。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	6.9ha	6.9ha	100%	

(コメント)

事業が予定どおり完成し、農業生産基盤の向上が図られ、目標が達成された。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
小規模農林地等 保全整備	耐久性畦畔 N=8 L=2,821m	農道 N=5 L= 560m	農業用排水施設 N=3 L= 223m	愛南町
自然環境保全・ 活用施設	保全交流推進施設 (情報案内板) N=1 箇所			愛南町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
愛南町	平成20年度	平成23年度	平成24年4月1日	
事業の効果				
農業生産基盤整備が完了し、維持管理に係る営農労力の節減が図られたことにより、農村環境の保全・向上が図られた。また、このことにより都市住民と農村漁村との地域間交流にも寄与している。				

3 総合評価

(コメント)

農業生産基盤の整備と棚田地域を中心とした保全交流推進施設（情報案内板）が完成した事により、農家経営の安定及び地域農業の振興と都市住民と農村漁村との地域間交流の促進が成されており、計画目標は達成されたと言える。

4 第三者の意見

(コメント)

山出地区に於いては、美しい棚田景観を有するものの、過疎化・高齢化・後継者不足が深刻な集落であった。しかし、耐久性畦畔や農道及び農業用排水施設の整備に伴い、管理に係る営農労力の軽減が図られ、農業経営の安定及び所得の向上に繋がってきている。

また、農村環境の整備を行ったことにより棚田景観が充実し、農林漁家体験民宿を中心としたグリーンツーリズムの推進に拍車がかかり、都市住民と農村漁村との地域間交流が大いに進展することとなった。

これらのことから、本計画の目的は概ね達成されたと認められる。